

持続可能な世界にむけて、 国連が採択した目標（SDGs）に 貢献する北海道の知

2015年9月、2030年に向けた地球を守るための持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals（以下、「SDGs」という。）が国連総会において採択された。北海道大学を始めとする北海道地区の高等教育機関においても、北海道内のみならず、世界各地の発展途上国へのSDGsの教育研究活動を行っている。SDGsは、17の開発目標のもとに、具体的な169のターゲットを掲げており、それらには、発展途上国のみならず、先進国における諸課題を解決することを掲げている。日本（特に北海道）が世界に先駆けて直面する、少子高齢化問題等も先進国が抱えるSDGsの課題である。

本講演会ではSDGsの概要、SDGsへの貢献として北海道地区の高等教育機関が行っている世界各地及び道内での活動状況を紹介し、地球を守るための持続可能な開発について考えていただく機会としたい。

2017年
2月11日(土)
13:30~17:00

北海道大学 学術交流会館
小講堂 (札幌市北区北8条西5丁目)

■ プログラム

- 13:30~13:35 挨拶
上田 一郎(日本学術会議会員、日本学術会議北海道地区会議代表幹事、北海道大学理事・副学長)
- 13:35~14:10 講演「SDGsと日本学術会議－貧困・平等、FE、防災・減災をめぐる」
大西 隆(日本学術会議会長、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授)
- 14:10~14:40 講演「サニテーション価値連鎖－水・衛生分野のSDGs達成のために」
船水 尚行(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院工学研究院教授)
- 14:40~15:10 講演「全ての人に健康と福祉を－肥満化、体力低下時代を生きる子どもたち」
山内 太郎(北海道大学大学院保健科学研究院教授)
- 15:10~15:20 休憩
- 15:20~15:50 講演「住み続けたいまちとコミュニティを目指して」
森 傑(北海道大学大学院工学研究院教授)
- 15:50~16:20 講演「生物多様性の保全とRCE北海道道央圏の活動」
金子 正美(酪農学園大学農食環境学群環境共生学類教授、国連大学RCE北海道道央圏代表)
- 16:20~16:55 総合討論、質疑応答
座長：山中 康裕(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院地球環境科学研究院教授)
- 16:55~17:00 挨拶
山中 康裕(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院地球環境科学研究院教授)

どなたでも参加
できます(入場無料)

■ 参加申込・お問い合わせ先

日本学術会議北海道地区会議事務局

(北海道大学 研究推進部 研究振興企画課)

Tel: 011-706-2155・2166 / Fax: 011-706-4873

e-mail: suishin * general.hokudai.ac.jp

(上記mailアドレスの * マークを@に変えてお送りください。)

電話、FAXまたは電子メールで2月6日(月)までに上記へお申し込み下さい。(当日受付も可)

■ 主催

日本学術会議北海道地区会議、北海道大学



■会場：北海道大学学術交流会館小講堂(駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。)

